

公共施設カルテ

1 基本情報

施設名	勤労者研修センター	所在地	須坂市墨坂一丁目6-1			
施設分類	市民文化系施設	所管課	産業連携開発課			
財産区分	行政財産	延床面積（㎡）	432			
居住誘導区域	該当	防災関連施設	非該当			
設置根拠	須坂市勤労者研修センター条例	設置の目的・経緯	勤労者に研修活動の場を提供する		交通アクセス	須坂駅から徒歩10分
事業内容	研修室、会議室	貸付の有無	有			
管理運営の状況	指定管理	委託内容				
備考（その他特記事項）	トイレ改修帳簿原価16,775千円					

2 建物の状況

階数 （主たる建物）	地上	2	地下	建築面積		延床面積	432
構造 （主たる建物）	S造			建築年度 （主たる建物）	1985	築年数 （主たる建物）	40
取得価格	71,975,000			耐震化の状況		新耐震基準施設	
帳簿原価	51,335,000			バリアフリー対応		優先区画、スロープ、多目的トイレ、車いす1台	
減価償却累計額	35,667,574			省エネルギーの対応状況		照明をLED化	
老朽化率	69%			施設の劣化状況			

3 施設コスト

単位（千円）

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
	人件費				
	委託料				
	光熱水費				
	維持補修費	265	80	0	115
	減価償却費	461	554	554	523
	指定管理料	2,300	2,915	2,915	2,710
	その他	610	610	610	610
費用合計		3,636	4,159	4,079	3,958

収入	利用料等収入				
	国庫補助金等収入				
	その他				
収入合計		0	0	0	0.0

収支	-3,636	-4,159	-4,079	-3,958
利用者一人当たりコスト	0.46	0.52	0.56	0.51

修繕履歴	金額	12,264	内容	2021年度 トイレ、照明等
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

4 施設利用状況

利用対象	どなたでも	
開館時間	平日	午前9時～午後9時30分
	休日	午前9時～午後9時30分
休館日	12/29-1/3	
駐車場の有無	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2023の比較
年間利用者数	7,955	8,038	7,339	7,777	-6%
年間利用可能人数					
利用率					
(参考) 年間目標利用人数	10,000	10,000	10,000	10,000	
年間利用時間		2,208	2,035	2,122	
年間利用可能時間		22,438	22,438	22,438	
稼働率	#DIV/0!	10%	9.1%	9.5%	

公共施設評価結果シート

施設名施設名称	勤労者研修センター
---------	-----------

1 各評価

(1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
合計		2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価 (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

(2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
貸館利用率	D	-2	過去3か年平均が10%未満
合計		-2	

【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率 【B】パターン	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	B	1	50%以上75%未満
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
これまでの改修履歴	B	1	必要な改修がある程度行われている
合計		5	

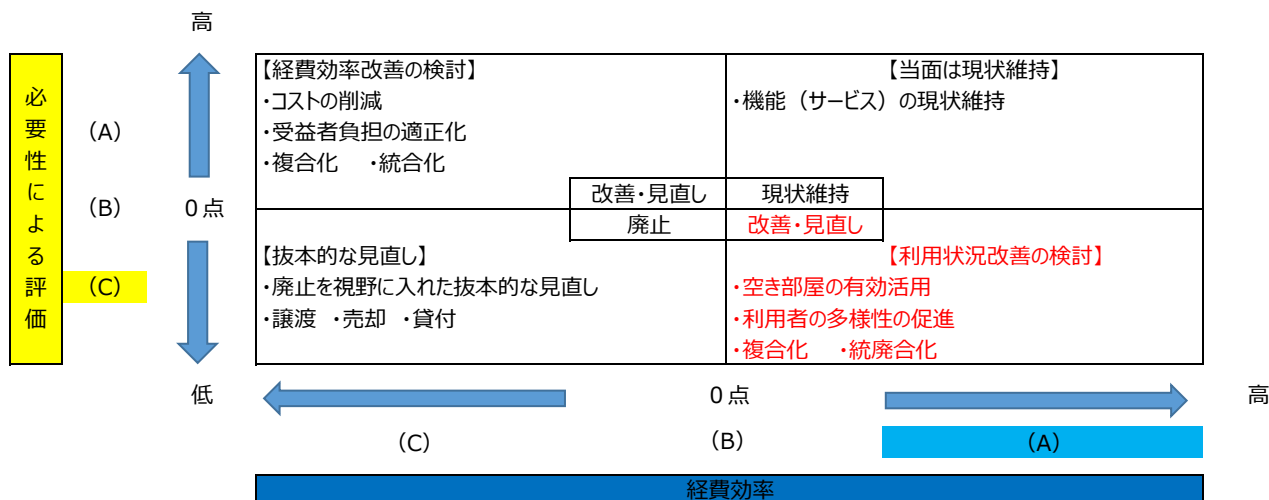
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	2
縦軸	必要性による評価	-2
合計点数		0

【利用状況改善の検討】

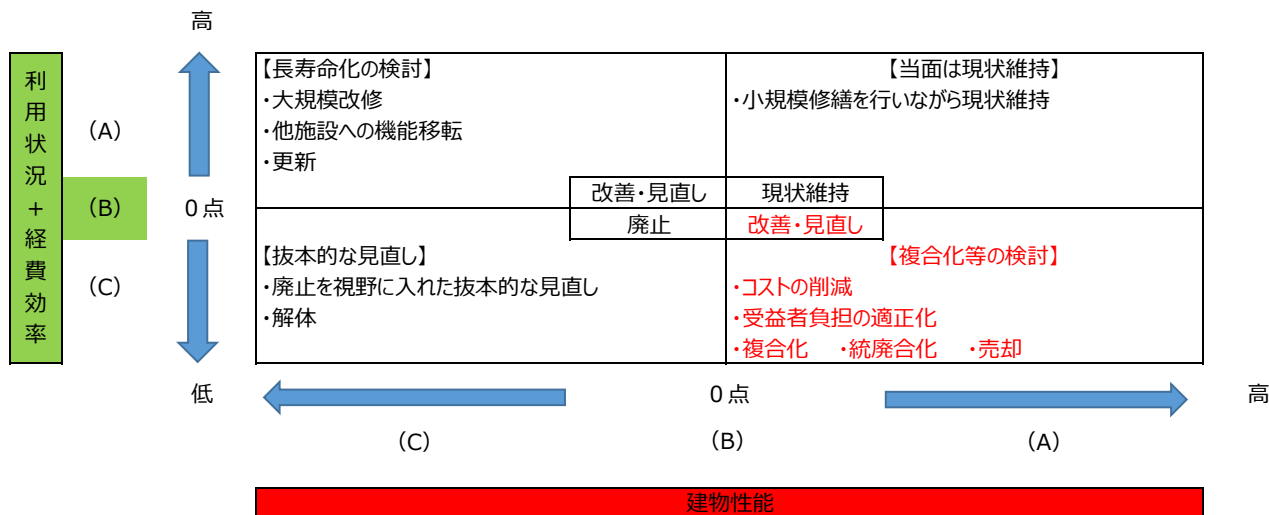


評価	説明
A	評価結果の集計点が、1 点以上
B	評価結果の集計点が、0 点
C	評価結果の集計点が、- 1 点以下

3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方角性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	5	横軸
縦軸	必要性和経費効率からの評価	0	縦軸
合計点数		5	

【複合化等の検討】



評価	説明
A	評価結果の集計点が、1 点以上
B	評価結果の集計点が、0 点
C	評価結果の集計点が、- 1 点以下